

令和3年5月27日

越谷市長
高橋 努 様

公明党越谷市議団
代表 守屋 亨

新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望

越谷市では、高橋市長をはじめ執行部の皆様が懸命に取り組まれていることに敬意と感謝を申し上げます。

さて政府は、新型コロナウイルスの変異株などによる全国的な感染拡大に対応するため、3回目となる緊急事態宣言を発出し、現在10都道府県に拡大しております。

さらに、実施区域拡大やまん延防止等重点措置の延長・追加などの対策がとられているところであります。

こうした取り組みの中で、今まで以上の感染予防対策の実施や医療提供体制の拡充とともに、何よりも、市民への円滑かつ迅速なワクチン接種を進めることが重要と考えます。

コロナワクチンの接種は、今までにない国民的事業であり、希望する全ての市民が接種対象であり、万全の準備が必要と考えます。

については、越谷市におけるワクチン接種の体制整備について、下記のとおり緊急要望致します。

記

- (1)政府は、7月末を念頭に高齢者へのワクチン接種を終えられるよう取り組むとしているが、多くの高齢者が接種を希望していることから、越谷市の接種計画を明確

にするとともに、埼玉県と密接な連携の下、まずは、接種に当たる医療従事者への優先的な接種を早急に行なわれたい。

(2) アナフィラキシー・ショック等の副反応報道がなされている中、ワクチン接種に不安を抱える市民も多い。5月21日には、ファイザー社のワクチンに加えモデルナ社やアストラゼネカ社のワクチンの薬事承認がされました。ワクチンの安全性等について、タイムリーで分かりやすい丁寧な情報発信に取り組まれたい。

(3) 接種券と同時に郵送される予約の案内などが同封されているが、文字が小さく、見づらいため等の声が寄せられており、今後の印刷に当たっては、文字の拡大などに留意されたい。

(4) 自力で接種会場に赴くことが困難な接種希望者等のため、移動のためのタクシー利用券の活用など、必要な支援策を実施して頂き感謝いたします。

更に、寝たきりの高齢者等必要な場合は、訪問による接種も検討すること。

(5) 今後、高齢者の優先接種と基礎疾患を有する者への優先接種が並行して行われることも想定される。国から示されている「先行予約期間」の設定を適切に行い、この期間においては、障がい者の方々へのきめ細かな配慮を行い、速やかな予約につながるよう特段の取り

組みを行われたい。

- (6)視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などのある接種希望者に対しては、事前の情報提供の充実と接種会場での円滑な接種に必要な手話通訳や筆談ボード、付き添いガイドなどの合理的配慮を十分に講じられたい。
- (7)車いす利用の接種希望者が会場で移動の不自由が生じないように、スロープの用意や幅広い動線の確保、車いす対応トイレへのアクセスなど、合理的な配慮を十分に講じられたい。
- (8)先行予約期間における処遇として、9月に海外に留学する学生・生徒について、ワクチン接種が義務付けられていることから、留学するまでに2回の接種が実施できるよう配慮されたい。
- (9)集団接種会場における経過観察時間を活用して、接種済者が注意すべき事項、例えば接種後すぐに体内の免疫が形成されるわけではなく引き続き十分な感染予防が必要であること、翌日に発熱などの副反応が顕著であることなどについて分かりやすく周知を図る映像などを上映されたい。
- (10)国による大規模接種センターの開設が発表され、都道府県の役割として特に高齢者人口が多い地域などを勘案し、都道府県の役割として大規模接種会場の設置を検討することとなり、越谷市でも大型施設を保有する

団体、法人等への協力働きかけにより増設を検討すること。

- (11)地区センター等への予約サポート窓口の増設を図り、インターネットに不慣れな高齢者に入力支援を推進すること。また、越谷市内所在の大学の学生ボランティアによる接種申込代行を図ること。
- (12)貴重なワクチンの無駄を防ぐことを目的に予約のキャンセルへの対応を検討すること。
- (13)ワクチン接種の問い合わせに関して電話以外のメール等の通信手段を図ること。
- (14)障がい者の方々のワクチン接種希望者の予約に関してサポート体制を図ること。